

おうみネット

1999・9

NO. 13

Ohmi Net

トピックス

介護保険と市民活動

介護保険で 社会が変わる！

● 淡海ネット・コラム
自発性と他発性

● スポットライト

草津コミュニティ支援センター(草津市)

CAP 滋賀(八日市市)

特定非営利活動法人ふれあい大津(大津市)

● ネットワーク

伝言板 9月・10月の活動団体情報

リレーエッセイ

Voice

● センターインフォメーション



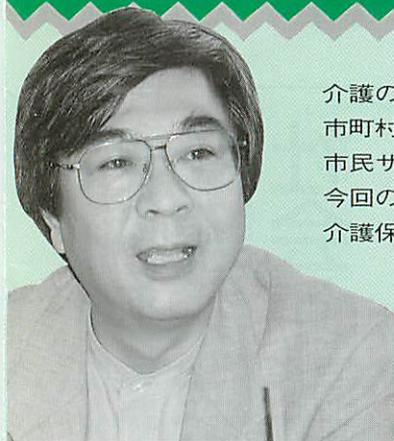
「比叡山ネイチャーゲームの会」主催の
「ネイチャーゲームで秋の自然と遊ぼう！」に
参加するおうみちゃん
詳しくはセンターインフォメーションを

淡海ネットワークセンター

は、県内の市民活動・NPOをサポート・ネットワークしています。

介護保険で社会が変わる!

あなたのまちが
NPOが



龍谷大学社会学部助教授

池田 省三さん

「おうみネット」編集ボランティア

聞き手 大山 純子

いけだ・しょうぞう 1946年生まれ

龍谷大学社会学部助教授 介護の社会化を進める1万人市民委員会運営委員

介護の社会化を目指す公的介護保険制度がいよいよ2000年4月にスタートします。市町村では市民参加で事業計画の検討を行っており、この10月から、要介護認定が始まります。市民サイドでも、県内各地で勉強会が開催され、社会的関心も高まっています。今回の特集は、介護保険制度によって何がかわるのか、何を变えなくてはいけないのか、介護保険と市民活動との関わりについて、龍谷大学助教授の池田省三さんにお聞きしました。

介護保険とは

介護を社会全体で支える

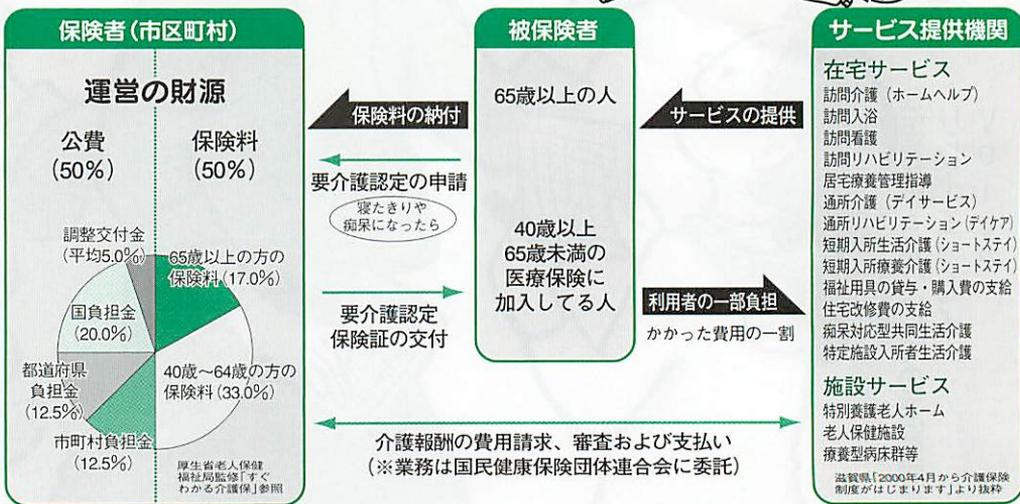
急速な高齢化とともに、介護の問題が老後のもっとも大きな不安要因となっています。また、実際に介護を行っている人にとっても、家族だけで介護を行うことは、非常に困難になっています。この制度は、介護を家族だけでなく社会全体で支え合い、利用者の希望を尊重した、総合的なサービスが受けられることを目的につくられました。



東京法規出版「やさしい介護保険のびき」参照

介護保険制度のしくみ

制度の運営(保険者)は市区町村になります。そして国や都道府県が、財政面および事務面から支援していきます。



市民参加の仕方
 大山・市民参加が強調されていますが、現実はどうですか？
 池田・介護保険制度は、介護保険事業計画策定の段階から市民参加がうたわれており、事業計画策定委員会の委員もかなり多く公募されています。市民参加が介護保険のおかげで、大きく動いたように思います。また、市民側もこれまでの告発型、陳情型から提案型となっており、事務局がたじたじとなるような提案をしているケースもあちこち見られます。
まず第一に、わが町の地域ケアシステムをどうつくるかということです。
 それには、介護保険料とサービスの関係を議論することです。どういうサービスを受けたのか。そのためにいくら必要なのか。サービスの量と質と一号保険料の関係を考えて提案するのが重要です。事業計画は5年間の2000年から2004年までなので、この5

介護保険はリニアモーターカー
 大山・なぜ、介護サービスが税金ではなく保険という制度になったのですか？
 池田・今までの高齢者福祉施策は「措置制度」で、サービスが一人暮らしの方とか比較的に社会的に弱い立場の人に限られて提供されてきました。その結果、多くの中間所得階層の人がサービスを全然利用できない状況になっています。また、「行政や福祉のお世話になるというのは恥ずかしい」という意識が、心のバリアとなって、積極的に利用されない状況にあります。
 日本は高齢化の進行が速く、要介護高齢者の数も新幹線のような速さで増えています。これに追いつくには、リニアモーターカーに乗るといった新しい仕組みが必要で、介護保険はまさに一挙に制度を変えるものだと言えます。
社会保険の良さは、所得や扶養に関係なくすべての人が利用できる普遍的制度といふことです。

淡海ネット・コラム



古川秀夫

(ふるかわ・ひでお)

龍谷大学

国際文化学部助教授

(財)淡海文化振興財団

運営会議副座長

自発性と他発性

—ボランティア活動をより広げるために—

従来、NPO、NGO、もしくはボランティア団体への参加者に対して、自発性や無償性さらには継続性を過度に強調するきらいがありました。私が龍谷大学国際文化学部で担当する必修科目『社会調査分析表』では、7日程度の国際ボランティア団体における参加観察を受講生に課しています。30団体から希望先を選べる点は自発的ですが、体験的な参加そのものは強制です。団体に受入れをお願いしたり、学生に希望票の提出を求めたりするなかで、肯定する声が多い一方、自発的であるべきボランティア活動への参加を義務づけるのはどうかといった疑問が団体や学生の一部から出されることがありました。

学部教育理念と経験の乏しい大学生の受入可能性の点で、国際ボランティア団体を主たるフィールドワーク対象に取り上げようとする私の立場は明確です。が、やや危惧を持ったのは、ボランティア団体への関与は専ら内発的な動機にもとづくべきだとする観念が日本社会を広くおおい、成熟した市民社会の形成を妨げているのではないかという点です。NPO法などの基盤整備が進み、欧米社会のように市民活動が広がれば、経済的報酬を受けながら働く専門スタッフを抱える団体もどんどん増えて行くはずですが、自発性と他発性の両方ともがメンバーの動機づけとして重要な位置を占めるようになります。公的性格を持った組織目的を達成するために、あらゆるチャンネルを通じた市民へのアピールや動機を問わない人的資源の活用が重要課題となります。

大学のみならず中学、高校でもカリキュラムの中にボランティア活動を取り入れる動きがはじまっています。活動に参加する学生の動機づけはたしかに自発的なものではなく、また直ちに継続性が期待できるものでもありません。しかしながら、将来の市民社会をになう人材であることに間違いありません。長期的な展望にたちながら、教育機関のメリットと受け入れ団体のメリットのバランス調整を図っていくことが目下の課題だと考えます。

市民活動・NPOの役割
 大山・福祉を選択できる時代がきたというわけですね。では市民活動・NPOは介護

期間に町をどう変えるかという市民の具体的な設計図が必要ですね。
第二は、介護保険と地域の福祉力を組み合わせて提案していくことです。
 在宅介護の最高給付額は35万円です、単身の重度の要介護高齢者が生活していくには70〜80万円必要となるでしょう。日本の給付水準の考え方は、特別養護老人ホームでの重度要介護者の費用までは在宅サービスも保障するというもので、北欧型とドイツ型のまん中です。しかし、地域によっては北欧型を目指してもいいわけで、介護保険を基礎に、上乗せや横出しだけでなく、自治体の単独事業やボランティア的な活動、低廉な住民互助事業などを組み合わせれば可能になります。
第三は、具体的に地域のサーブスの支えを事業体として展開していくことです。
 ボランティアなもの、低廉な住民互助事業をすべて住民ができれば住民自治の社会ができあがるわけです。もちろん、それをやらなくて介護保険まかせにして、あとは自助努力でもいいんです。ただし、それを選ぶのはその地域の住民なのです。

池田・NPOはまだ力不足です。介護保険の中で活動できるのは3割くらいでしょうか。経営能力、労務管理面を強くしなくてはなりません。一種の市場なので、そこには競争があります。だから経営体としてしっかりする必要があります。介護保険が始まったら**市民事業として展開するのかが、ボランティアとして展開するのかを分けておかないといけません。**

組織を二つに分けてもいい。事業とするなら経営に注目し、しっかりと給料を払えるシステムにしないとダメだと思います。そうしないとNPOは育たない。
 また、NPOも介護保険に乗るのなら、アマチュアという意識を捨てないといけません。介護保険は、利用者が自己負担するので、サービス提供者も利用者も対等の関係です。また、利用者の苦情を解決することで、サービスの質も上がるということをしつかり押さえておかないといけませんね。
 一方、介護保険はサービスですから、優しさは供給できません。話相手は重要なサービスですが、それに保険給付するのは困難ですから、その部分はNPOがボランティアな部分

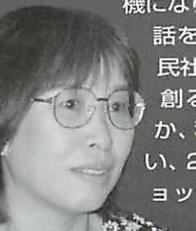
保険が始まるにあたり、具体的にどのような働きをすべきでしょうか。
 池田・NPOはまだ力不足です。介護保険の中で活動できるのは3割くらいでしょうか。経営能力、労務管理面を強くしなくてはなりません。一種の市場なので、そこには競争があります。だから経営体としてしっかりする必要があります。介護保険が始まったら**市民事業として展開するのかが、ボランティアとして展開するのかを分けておかないといけません。**

として担うのがいいかと思っています。
介護保険によって社会が変わる
 大山・介護保険によってどんなことが変わるのでしょうか。
 池田・地域政治が変わります。介護保険は基本的なサービスを提供するナショナルスタンダードです。様々な資源をいかして充実した福祉システムをつくる自治体も出てくるし、丸投げのところも出てくるでしょう。でもそれを決めるのは住民というシステムになっています。

大山・地域によっていろんな差が出てくるのでそれをみて、なぜ自分の町はこうなんだ？という問題意識も生まれてくるわけですね。
 池田・生まれてこないところはそれまでです。問題意識が生まれてこないとそのままの結果が出ます。
自己決定、自己責任、自己負担が市民社会の論理です。介護保険はすごい情報公開制度でもあるんです。
 保険料に対して、どんなサービスが受けられているのかすべての市町村の情報が比較できます。このデータを活用して、自分の地域の高齢者福祉政策を判断し、自分たちの町を自分たちでよくしていくのです。保険導入の5年後に市民の力がためられるのです。

大山・汗も出し、お金も出し、自分の意見も出すということですね。住民は賢い介護保険の使い方を知らなければなりません。
 池田・市民も専門的知識を身につける必要があります。アランという哲学者は悲観主義は単なる感情、楽観主義は意志だと言っています。つくりあげるといふ気持ちがあれば楽観的な考え方は生まれてこない。批判は誰でもできるし、欠点を言うのは簡単です。市民自身が、どうつくっていくかが介護保険では重要なことです。

インタビューを終えて 編集ボランティア大山
 少子高齢社会を迎えて、高齢者の介護は大切な問題です。「我がまち」の介護保険がどんな内容で作られ、運営されていくのか、しっかり目を向けなければなりません。介護の社会化を目的としたこの制度が、同時に大きな社会変革の契機になり得るといふ池田先生のお話を伺って、本当に新しい市民社会・新しいコミュニティを創ることができののだろうか、私は何ができるのかと思いい、21世紀への夢と期待とチョッピリの不安が胸をよぎりました。



スポンジライト

環境・福祉・まちづくり…、滋賀県内外でキラキラ元気に活動されている方々にスポットライトをあて、その活動を詳しく紹介します。



市民のための市民によるセンターをめざして

市民活動の情報発信基地をめざして
事務局発足



◀子どものコーナー

「草津コミュニティ支援センター」がオープンして1年余。ホールや和室があり、インターネット、印刷機も使えるこの施設は、設立当初から利用登録団体が、一定の管理ルールを決め、自分たちの活動に利用していました。しかし、もっと市民に開かれた「場」としてのセンターをめざし、

今年5月に、有志10人で、事務局が発足し、センターの登録



▲事務局長の金澤さん

団体と事務局で運営されることになりました。「利用団体間の交流を図っていくと同時に、またそれらを支援するボランティアのための活動の「場」も提供していきたい。」と事務局長の金澤恵美さん。

その「場」に集う団体、人が、センターを市民活動の拠点として、自由に活用するだけでなく、集まった団体、人の間で相互交流が生まれ、ネットワークが形成され、センターが市民活動の情報発信基地になればというのが将来の展望です。

センター内の「お金」、センタークーポンで支え合い

事務局では、子育て等をテーマにしたサロンやニュースレター「ブラッサ（ポルトガル語

で広場の意味」の発行、新しい交流が生まれるようなイベントなどを企画。中でも利用者間で「サービスの行き来がスムーズに進むための「センタークーポン」の発行には力を入れています。これは、センターの清掃など自分のできるサービスマスターに対して電子的に発行され、ホールの利用などに使えるセンター内の「お金」なのです。対価に対して、現金以外にボランティアでまかなえ、「センタークーポン」を通して市民同志が互いに支えあっています。「ふらっとセンター」に入って来られる方も沢山いますし、センターを通じてネットワークが広がり、いろんな企画がどんどん出て来るんですよ。草津コミュニティ支援センターはまだ生まれたばかり。試行錯誤を重ねながら市民のための市民によるセンターを目指しています」どんな新しいことがはじまりそうなのセンターに、あなたも足を

運んでみませんか。
(編集ボランティア
前田裕美子)



▲草津コミュニティ支援センター



事務局の有志 ▶

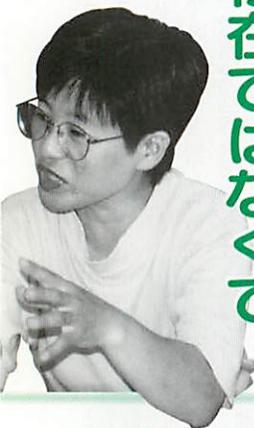
草津コミュニティ支援センター

〒525-0037 草津市西大路町10-12
TEL 077-563-0932 FAX 077-565-7137
E-mail: npo@kusatsu.or.jp
事務局長 金澤恵美
運営人数 約15人 利用団体 32団体
活動区域 草津市 設立 1998年

子どもは守るべき弱い存在ではなくて「自分を守る強い力」を持っています



▼久保さん



透析患者に
ドア・ツー・ドアの
送迎サービス



▲NPO通信「ふれあい大津」



▲送迎車

◀ 太田さん

小学4年生を対象にしたワークショップ▶



**深刻な問題を明るく楽しく
学習するワークショップ**
活動の中心であるワークショップは、子どもたちに寸劇を見せることから始めます。寸劇には、①はじめに合ったとき、②知らない人から話かけられたとき、③知っている人からイヤなざわられ方をされたとき、の3つのパターンがあります。「子どもたちに答えを押しつけるのではなくて、ど



◀大人対象のワークショップ

うしたらいいかを自分で考えてもらうんです」とメンバーの久保さん。地元の小学校では、毎年4年生を対象にワークショップを開いているそうです。「子どもたちは素直に意見を言いますよ。最後のトークタイムでは、先生や親にいけないことを話してくれたら、こんな言うとお母さんがいやがるからとか、意外と親に対して気をつかってるなと思いますね。」ともすれば深刻な問題を、明るく楽しく学習するのがCAPのワークショップなのです。

「仕事を持つメンバ―が多いので、今、昼間に活動できる人たちのグループ作りを考えています。より多くの人に理解してもらいたいし、参加して欲しいですね。情報の発信もして行こうと思ってます」子どもが信頼して何でも話してくれるような大人になるために、CAP滋賀の活動は広がって行きます。
(編集ボランティア 松井由美子)

CAP滋賀の発行物▶



子どもが自分で自分を守れるように…

「CAP」ってご存知ですか。—— Child Assault Prevention (子どもへの暴力防止)で、アメリカで作られ多くの支持を受けた「子どもが暴力から自分を守るための教育プログラム」の事です。暴力とは、いじめ、虐待、痴漢、誘拐など肉体的、精神的暴力のことで、日本でも子どもを巡る痛ましい事件が後を絶ちません。1985年に日本に紹介され、1995年、CAPプログラムを実践するスペシャリストの養成講座が開催されました。この講座での出会いが縁で、翌年、八日市に「CAP滋賀」が生まれました。

CAP滋賀

〒527-0023 八日市市緑町8-22
八日市市健康福祉センター内/久保
TEL 0748-22-1300 FAX 0748-22-1617
代表 川副知佐 人数 14人
活動区域 八日市市中心
創立 1995年11月

**全国初の送迎サービス
NPO法人設立**

「ふれあい大津」は、今年5月から大津で、65歳以上または歩行困難な人工透析の患者の方を対象に、自宅から病院まで通院送迎のサービスを行っているNPO法人です。「実は、全国初の送迎サービスNPO法人なんです」と柳田理事長。事業開始のために法人化を目指されたいきざつについて「通院送迎サービスに車の所有は不可欠ですが、法人格があれば、法人名義で所有でき、送迎サービスの安全確保のための保険にも法人名で加入する事ができます。また患者さんやその家族の方以外にもボランティアとしての参加が呼びかけやすくなりますし、週3回の車の運転手や介助者の確保など、継続してサービスを行うにはNPO法人として組織的に活動することが大切だと思ったのです」と話されました。「官ではできないことを民でやる、自分たちの持っている力を地域社会でいかすためには、人間の善意のボランティアを組織化し、責任を持って事業を



▲人工透析の患者さんが送迎車にのるお手伝いをするメンバーの方

理事長の柳田さん▶



(編集ボランティア 奥田久美子)

特定非営利活動法人ふれあい大津

〒520-0801 大津市におの浜4丁目2-33
大津市立心身障害者福祉センター内
TEL 077-521-0313 理事長 柳田貞男
人数 約40人 活動区域 大津市
創立 1999年7月

**本当に豊かな社会をつくる
NPOの一つとして…**

実際の送迎サービスでは透析患者の終了時間の調整や冬期の雪対策など解決しなければならぬ問題もいろいろあるとか。しかし、福祉が豊かになることが次の経済の活力を産むと長い間、経済界で働いて来られた柳田さんの言葉に、本当に豊かな社会をつくるNPOの一つとして、私たちのできることを実践していこうという決意を感じました。



日時・場所・問合せ先等を明記の上、
FAXまたは郵送でセンターまで
お寄せください。
10月10日締切です。
イベント等に参加された
感想もお待ちしております。

長浜芸術版 楽市楽座 アートインナガハマ'99

10/2 [土] 10:00~17:00
10/3 [日] 10:00~16:00
場所●長浜市街地商店街
内容●全国からあらゆる分野のアーテ
ィスト・クラフトマンが集まり、作品
を220ブースに別れて展示・実演・販売。
問合せ●0749-65-0393
長浜芸術版楽市楽座運営委員会事務局
E-mail:ain@mx.biwa.ne.jp

ジャパン ポスター デザイングランプリ'99

10/6 [水] ~11 [月]
8:30~17:00 (最終日は16:00まで)
場所●滋賀県立長浜文化芸術会館
内容●「水」がテーマの環境問題ポス
ター部門と自由ポスター部門に全国
より公募を行い、優秀作品を展示。
出品料●3,000円 (作品1点につき)
問合せ●0749-65-2340
淡海クリエーターズクラブ

ろみんど 湖人の会結成公演

10/9 [土] 13:30~ (開演14:00)
場所●ピアザ淡海2Fピアザホール
内容●鳥の王 コンドル (音楽劇てんでこ)
おこんじょうり (劇団 自立の会)
入場料●前売 2,500円 当日 3,000円
高校生以下 2,000円
申込先・問合せ●077-533-1662
テアトルネットワーク湖人の会事務局

石坂真砂が唄う 愛と平和のコンサート

10/10 [日] 14:00~16:00
場所●ピアザ淡海2Fピアザホール
内容●沖縄のシャンソン歌手、石坂さん
は、学童疎開のため対馬丸に乗るはずが
急病のため、乗りそびれ命びろいした。平
和の尊さ・生命の重さが心の巖に刻まれ、
歌い手の心が聴くものに響きわたる。
入場料●前売 2,000円 当日 2,500円
申込先・問合せ●077-545-5859 (FAX)
石坂真砂コンサート実行委員会事務局

第6回 伝統芸能の夕

10/16 [土] 18:30~
場所●馬路石辺神社拜殿
内容●大蔵流社中・狂言 二題
問合せ●077-582-2993
中山道守山宿歴史文化保存会

一緒に楽しみませんか？

ネイチャーゲームで 秋の自然と遊ぼう！

10/17 [日] 10:00~15:00
(午前中のみ参加もOK)
場所●甲西町青少年自然道場
参加費●大人400円 子供300円
問合せ●077-579-6659
比叡山ネイチャーゲームの会/辻田

一緒に考えませんか？

草津コミュニティ支援センター プラッサ

トークサロン
■9/6 [月] 13:00~ ファシリテーター金澤
内容●「異文化体験をみんなで語ろう」
思い出の品物や写真などもお持ち下さい
■9/8 [水] 13:00~ ファシリテーターうすき
内容●「草津市のゴミ問題を語ろう」
■9/10 [金] 13:00~
内容●一自分を知り 好きになるー
「個性心理学とはじめ」
■9/16 [木] 13:00~ ファシリテーター松島
内容●「作業所を知ろう」
■9/18 [土] 13:00~
内容●自主学習グループミント公開講座
世界女性会議に行こう！「つぎはニューヨークだ！」
北京女性会議参加者によるパネルディスカッション
■9/24 [金] 13:00~
内容●老後をバラ色に！みんなで語る高齢社会
■9/30 [木] 13:00~
内容●共に考えてみませんか？「家庭
の中での男女不平等はあるのだろうか」
定員●20名程度
参加費●全サロン300円 (飲み物・お菓子付)

ビデオサロン
■9/14 [火] 10:00~
内容●草津栗東おやこ劇場モデラ
ートの会「陰謀のセオリー」
参加費●300円 (飲み物付)
■9/17 [金] 10:00~
内容●個性心理学個育てネットワーク
ビデオ&トーク「心を育てる抱っこ法」
参加費●300円 (飲み物付)
■9/22 [水] 10:00~11:30
内容●個性心理学個育てネットワーク
0才~2才親子プレイルーム
一悩み解消！楽しく子育てー
期間●6ヶ月 毎週1回
参加費●100円 (飲み物付)
定員●10~13名 親子 (一人目の子供
で月齢6ヶ月くらい) ※要予約

プレイサロン
9/22 [水] 13:00~
内容●「押し花を使ってハガキを作ろう」
参加費●400円 (飲み物・お菓子付・材料費込)
場所●草津コミュニティ支援センター
問合せ●077-563-0932
090-8207-8807/金澤・077-567-2118/岡本

地球環境セミナー 「美しい地球を子供達に」

9/7 [火] 18:30~21:00開場 18:00
場所●北部地域文化センター(大津市・堅田)
講師●高木善之氏
(NGO「地球村」ネットワーク代表)
内容●一般に知られているよりはる
かに深刻な「地球環境」を考える
参加費●前売 1,000円 当日1,500円
問合せ●077-573-0222
堅田「湖族の郷」事務局

UK-JAPAN 高等教育シンポジウム

9/9 [木] 13:00~16:00
場所●アミカホール
パネリスト●ロナルド・バーネット氏
(ロンドン大学・教育研究所学部長) / トニー・クラーク氏 (英国教育
雇用省・高等教育局長) / 西澤潤一氏
(現岩手県立大学学長・前東北大学総長)
内容●現代高等教育の課題と展望
ー21世紀のイギリスと日本
参加費●500円 (資料代含む)
問合せ●0749-27-1036 (FAX兼)
日英高等教育シンポジウム実行委員会
E-mail:yumiko@biwako.shiga-u.ac.jp

第45回 滋賀県母親大会

9/12 [日] 10:00~16:00
場所●大津市立瀬田北小学校
内容●生命を生み出す母親は、生命を育
て生命を守ることをのぞみます。子ど
も大好き、平和大好きな方誰でも参加
できます。27の分科会で話し合います。
参加費●500円
託児●有 (小さいお子さん連れでもどうぞ)
問合せ●077-525-9344
滋賀県母親大会連絡会

くさつNPOセミナー

第1回 9/25 [土] 13:00~
場所●草津コミュニティ支援センター
内容●話題提供者をお招きしながら
NPOとは何かについて「知る」「考える」
「わかる」。5回連続講座。第1回
目は法人格に焦点をあてながら、日本
のNPOをとりまく現状について議論
参加費●700円 (飲み物付・資料代込)
定員●20名
問合せ●077-563-0932
草津コミュニティ支援センター事務局

~くらしの中で考える~ 男女共同参画基本法と条例 パートII

9/25 [土] 13:30~15:30
場所●県立女性センター 研修室B
内容●男女共同参画基本法と条例に関する
先進地情報と現実を考え話し合います。
参加費●500円 (会場費・資料代込)
問合せ●0748-37-2346
はちまん女政ネット/井上

市民参加の 介護保険連続講座

■第3回「地域で老いたい」
水口町24時間在宅ケアの取り組み
9/29 [水] 19:00~21:00
場所●サンヒルズ甲西
講師●堀井とよみ氏
(水口町保険センター所長)
■第4回「北欧福祉事情」
スウェーデンの暮らしに学ぶ
10/5 [火] 13:00~15:00
場所●中央公民館
講師●齊藤弥生氏
(大阪外国語大学講師)
参加費●1回300円 (資料代)
問合せ●0748-74-4351
介護の社会化を進める1万人市民委
員会関西滋賀ネット「市民参加の介護
保険連続講座」甲西町準備会/小川

あけぼの会 滋賀大会 (乳がん患者会)

10/24 [日] 10:30~16:00
場所●ウイングパレスくさつ
内容●ワット隆子講演・体験発表・
医師による相談会
参加費●2,000円 (昼食付)
問合せ●0749-23-6056/岡
その他●乳がん体験者・ご家族、ど
なたでもご参加下さい。

日韓文化交流シンポジウム 石塔寺三重石塔のルーツを探る

10/31 [日] 10:00~16:00
場所●あかね文化センター 大ホール
内容●日本・韓国の石造物歴史研究者
を4名招待しシンポジウムを開催
対象●蒲生町民・石造物歴史研究者ほか500名
問合せ●0748-55-4881
蒲生町国際親善10周年記念事業実行委員会

助成金情報

平成12年度社会福祉・医療事業団 助成金「地方分」募集

助成対象●
①高齢者・障害者福祉基金
介護サービス基盤の充実、福祉サービスの連
携・交流、ボランティア団体等が参加した
在宅福祉の充実、きめ細やかな実践的な事業
②子育て支援基金
児童の健全な育成を支援するため、地域
で活動するボランティア団体等民間の創
意工夫を活かしたきめ細かな実践
③障害者スポーツ支援基金
障害者の社会参加の推進等に資するため
地域で活動するボランティア団体等民間
の創意工夫を活かしたきめ細かな実践
助成額●200万円を限度
応募期間●9月1日~10月末日
問合せ●077-567-2738
社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会
福祉施設経営相談・支援室

大不況こそ絶好の機会

「滋賀で公開討論会を実現する市民の会」
北川恭司

カーネーニングがブームですが、その元祖は英国です。かつて英国病と揶揄され、経済の停滞と財政破綻で、かのサッチャー率いる英政府の行財政改革は凄まじいものでした。市民への行政サービスは低下の一途を辿り、国民の不満はピークに達し、一斉にサッチャーバッシングが始まると思いきや、チャンスとはかりにますます市民のボランティア活動が盛んになったと言われます。我が国の状況打開のヒントは英国にあるのでは…。正しい政治のリーダーシップと私たち市民の意識改革。今日の空前の大不況こそ、経済成長を至上命題としない、単なる指標に右往左往しない、暮らしの豊かさや生き方を見直す絶好の機会かと思いませんか。またこの国の政府や政治家が問題だとするならば、それらを支えている私たちに問題があると思いませんか。選挙における公開討論会は市民サイドの政治改革です。すでに全国各地で市民による大きな動きが始まっています。



「滋賀で公開討論会を実現する市民の会」
北川恭司 (八日市市)

今回は、「Eコマースクラブ」の
かとう一美さん(竜王町)です。
お楽しみに。

手から手へ 9 リレーエッセイ

伝言板 9月・10月

イベント等に参加された感想も
お待ちしております。

参加しませんか？

あなたも伝統の祭りに 参加してみませんか？

10/10 [日] 8:00~18:30頃
場所●大津市内天孫神社氏子区域
内容●大津祭曳山巡行の綱をひいて頂く方
対象●18才~65才の男性 先着50名
問合せ●077-522-1945
大津祭曳山連盟 当番町/佐倉

どこにでもあるが、ジーンとして 思わず心があつたまる話 第3集 大募集

内容●たった一つのことが、相手の心を閉ざしたり、傷つける凶器になります。逆に心を開かせたり、救ったりもします。日常経験したことで相手への思いやり、やさしさが感じられる作品なら何でも結構です。地域社会全体が人を大切にする温もりある地域になっていくよう祈りを込めて。
原稿枚数●400字詰め原稿用紙3枚程度
応募締切●10/15 [金]
問合せ・申込み●077-521-1619
〒520-0044 大津市京町4丁目3-5
JA滋賀中央会 同和対策室

第13期 関西NGO大学 国際理解・ 国際協力入門講座

1999年9月~2000年2月 (全6回)
場所●関西各地 (京都・大阪・兵庫)
内容●市民の国際理解をすすめる、国際社会がかかえる課題に取り組むNGOの活動に関わる人材を育てることを願う参加者主体です。
問合せ●06-6377-5144 (FAX兼)
関西NGO協議会/岡
E-mail:somiyum@ppp.bekkoame.or.jp

一人で考えないで仲間と語り合いませんか 淡々会 (たんたんかい)

10月から毎月1回第一土曜日
14:00~16:30 (参加者が5人になれば開催) 落ち込んでいる方、悩んで立ち上がれない方、心に大きな穴が開いて埋められない方などの参加をお待ちしています。
参加対象●男性・30歳以上を原則
場所●ピアザ淡海2Fセンターロビー
問合せ●077-546-6645/池田

こんなことしま〜す

第2回 はちまん堀まつり

9/11 [土] 19:00~21:00
第8回八幡堀たそがれコンサート
9/12 [日] 11:00~18:00
はちまん楽市 (フリーマーケット)
19:00~21:00 第6回近江八幡薪能
17:00~22:00 お堀ばた育すずみ
場所●近江八幡市 八幡堀周辺
参加費●無料 (薪能のみ有料)
薪能チケット
前売り 3,300円 当日 3,500円
ペア券 6,000円 (前売り・当日とも)
問合せ●0748-32-7003
(社) 近江八幡観光物産協会/田中

びわこマンドリン フェスティバル

9/12 [日] 13:30~ (開場13:00)
場所●ひこね文化プラザエコーホール
内容●
1部 日本のメロディー
2部 宮崎駿のアニメシリーズ
3部 マンドリンオリジナル
滋賀県下のマンドリン・ギター愛好クラブ5団体の初めての合同演奏会です。マンドリン音楽の魅力で愛好者を増やしていきたいと思っています。
問合せ●0749-63-9321
長浜ギター・マンドリンアンサンブル/木野

量増 [押花工房] '99秋の量と押花アート展

9/17 [全] ~19日 [日] 10:00~18:00
場所●ビバシティ彦根研修室1.2
内容●日頃の活動成果の展示とリサイクルはがきの無料体験
問合せ●0748-22-2940
量増/徳永

シャンテの熊野伸一さんと 山本智子さんと語ろう

10/2 [土] 14:00~16:00
場所●野洲文化小劇場
内容●全盲という障害を持ちながらプロのミュージシャンとして活躍中の熊野さんの障害者観を語っていただきます。
問合せ●077-567-5010
滋賀メンタル友の会事務局

Voice

子供の未来を守るために、
今できることを！

「あとびつ」と「アトピー情報交換広場」
今、日本では4人に一人が何らかのアレルギ―疾患を持っています。環境・食物汚染と深く関わりあっている現代病「アトピー」性皮膚炎などは、まさに未来への警鐘であり、これは21世紀にむけて、未来の子供たちにつながる問題として捉えることが大切なんです。そこで大津市制100周年をきっかけに、1998年7月にアトピーのバリアフリー環境(アトピーの人と、そうでない人との心の段差をつめることなど)の現実に向けて、食と医療のボランティアサークル「あとびつ」と「アトピー」のふれあい、そして自然とのふれあいをテーマに、アトピーが私たちに気づかせてくれたことを理解し、さらに自然治療力のバランスを高めるための勉強と情報交換ができるようになりました。現代は知らない間に誰もがあんな「アトピー予備軍」なんです。そんななか「あとびつ」では、身近な「食」と「生活」を見直すことから出発して、ほんまもんの「豊かな生活」につながる毎月第3日曜日に、明日都浜大津(OPA)の大津市ふれあいプラザで料理サロン「アトピーのための癒す食卓」として、アトピーの人やそうでない人、アトピーの子供のいるお母さんやおばあちゃんたちが、みんなでアトピーのための料理をつくりそれを食べながら、アトピーの失敗や体験などのお話を楽しくワイワイと語り合う情報交換広場を開催しています。

最近ではアトピーの子供が増え、よくダニとかハウスダストなど色々な原因が言われていますが、その中でも特に環境汚染の問題、そして食物汚染の問題が一番の原因だと思っています。例えば科学技術が発達し、競争社会で豊かな暮らしを求めた結果は「食」にあってもコスト引き下げと豊富な種類の量の生産効率や見栄え・食べやすさに価値観が移り、それを支えたのが農薬や合成添加物をはじめとした化学物質の多用です。あまりにも作偽的な食料生産は、土壌や水質の汚染、生態系の破壊、子供にも現れた成人病やアレルギーの急増など、自然環境

や人体に重大な悪影響を及ぼしています。これからは子供の未来を守るためにも「食」と「生活」を見直すことが必要です。東洋医学の「食養生」の言葉は健康を保ち病気を防ぎ、治療の根本は食・食べ物にあることをさしています。それが自然の摂理にかなう、自然のエネルギーを体内に蓄積し、自然治療力のバランスを高める原動力になっています。「アトピー、それは自然界から現代社会への警鐘」なんです。

まさにアトピーの人は、そのメッセージを伝えるために、天から舞い降りてきた「天使」そのものだと思います。アトピーについて考えることは、生きること考えることとです。アトピーはそういうことを、世界中の一人一人に問いかけているのだと思えます。たとえば、「食」は自然と文化そのものです。何気なく口にしている「食」の奥深さを、今だからこそ真剣に考えてはいかがでしょうか。最後にアトピーの人に善いことは、地球環境にも優しいことと忘れずに…

連絡先▶TEL 077-578-8730
E-mail atopie@pop21.odn.ne.jp

淡海ネットワークサロン

参加者・共催者 募集

市民活動の様々な分野をテーマに、関心ある人たちが集い、自由に意見を交換したり、ネットワークをつくるためのサロンです。「訪問サロン」と「テーマサロン」の参加者・共催者を募集します。

参加者募集 訪問サロン 県内の先進的な活動の現場を訪ね話を聞きながら交流するサロン。

第1回 クリーンなエネルギーについて ～太陽光発電ってなに？～

日時●9月25日(土) 13:30～15:30
訪問先●なんてん共働サービス(石部町)
ゲスト●溝口弘さん

第2回 市民の視点で国際交流 ～外国人が住みやすいまちとは～

日時●10月2日(土) 13:30～15:30
訪問先●長浜国際交流ハウス(長浜市)
ゲスト●服部揚一さん

第3回 自然に親しみながらの環境教育 ～世代を越えて自然との交流～

日時●10月16日(土) 13:30～15:30
訪問先●マキノスキー場管理事務所(マキノ町) 予定
ゲスト●谷口良一さん

第4回 山の文化を発信 ～山の豊かな暮らしとは～

日時●11月13日(土) 12:30～14:30 ゲスト●塚本茂さん

第5回 土と触れあう体験教育 ～今、子どもに必要なものとは～

日時●12月4日(土) 13:30～15:30 ゲスト●山田貴子さん

申込み締切り●サロン開催日の1週間前
募集定員●各回20人(先着順)
参加料●各回200円(資料・お茶代等)

共催者募集 テーマサロン ゲストと参加者が楽しく自由な話し合いと交流をするサロン。

テーマ1 市民活動とインターネット ～インターネットを活用してみよう～

日時●9月19日(日) 13:30～15:00
場所●ピアザ淡海
ゲスト●「でじまむ」

参加者も募集

テーマ2 障害者と健常者がともに生活するには ～茗荷村の実践例をもとに～

日時●9月19日(日) 10:30～12:00
場所●ピアザ淡海
ゲスト●茗荷村

参加者も募集

参加定員●各テーマ20人(先着順)

テーマ3 地域・活動の情報を発信 ～ミニコミ紙づくりについて～

テーマ4 フリーマーケットでの交流 ～魅力あるスペースづくり～

テーマ5 新しい仕事を探す ～NPO・NGOで働くこと～

共催者●1テーマにつき1団体または個人(先着順)
ゲストの謝礼・会場費は、センターが負担します。

申込み●共催希望者は日時・場所を用紙に記入しセンターまで

お問い合わせ ● 淡海ネットワークセンター 福田まで

第3回 福井・滋賀・三重 市民活動フォーラム'99

3県の県民が集まって、環境・福祉・まちづくりなどの幅広い市民活動をテーマに交流し語り合うフォーラムです。

日時●11月7日(日)
11:00～17:00

場所●鯖江市郷陽会館他

参加者●約450名

内容●11:00～ 全体会
12:00～ 分科会(昼食付)
15:30～ 交流会

参加費●フォーラム 一般 2,000円
学生 1,000円
交流会 3,000円

お問い合わせ ●
滋賀県企画県民部県民生活課
TEL 077-528-3411
FAX 077-528-4840

9・10月号の表紙

自然がいっぱいの比叡山で生まれた「比叡山ネイチャーゲームの会」。現在は活動範囲を広め、滋賀県内全域で活動しています。

「ネイチャーゲーム」とは、木の葉を使って遊ぶ、木の葉カルタとりをしたり、ビンゴカードを使ってフィールドビンゴをやったり、聴診器を使って木の鼓動を聞いたり、自然の不思議さやおもしろさに気づく活動です。

10月17日(日) 10:00～15:00
甲西町青少年自然道場

で開催します。親子で夫婦で友達で、自然の楽しさを一度体験してみませんか。

ホームページをリニューアル

センターのホームページが リニューアルしました。

新しいセンターへのアクセスや利用内容、リンク集、市民活動情報が充実しました。一度ご覧下さい。

<http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net>

おうみ市民活動屋台村 “おいしいこと”探そう!!

9月19日(日) 10:00～16:00
滋賀県立県民交流センター(ピアザ淡海2階・3階)等
※ 詳しくは案内チラシをご覧ください。

編集後記

「おうみ市民活動屋台村」9月19日にピアザ淡海にて開催!ぜひお越しを!

今回は10月から要介護認定が始まるということもあり、介護保険と市民・NPO・地域社会との関わりについて特集しました。取材の中で自分たちでつくっていくということの大変さと面白さ、いろいろな市民社会の要素が、この制度に含まれているように思いました。さて、今、センターは、19日の市民活動屋台村の準備で大忙しです。実行委員の皆さんがそれぞれ得意分野の催し物を企画・実行します。映画あ

り、交流会あり、サロンあり、フリマありと盛り沢山のこのイベント、ピアザ淡海の2F・3Fとその前のなぎさ公園を使って開催します。1日限りの屋台村、たっぷり味わうもよし、ちょっとかじるのもよし、あなたにとっておいしいことを探しにぜひお出かけ下さい。「市民活動・NPOってなんだ?」そんな方も大歓迎!! お気軽どうぞ。お待ちしております。(詳しくはセンターまで)

淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団

〒520-0801 大津市におの浜1-1-20

TEL 077-524-8440 FAX 077-524-8442

<http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net>

E-mail:ohmi-net@mx.biwa.ne.jp

ご利用日時●月曜日と祝日の翌日を除く毎日(12/29～1/3を除く)

火～金曜日/9:00～19:00 土・日曜日、祝日/9:00～17:00

